

小惑星“Hatoyamamachi(鳩山町)”誕生 記念シンポジウム

パラボラアンテナの町から発信する
宇宙の魅力と可能性



渡辺和郎氏 山崎直子氏 島田政信氏 寺門邦次氏

1/23(土)

入場
無料

午後1時30分～4時
(午後0時30分開場)
in 町文化会館

平成27年8月29日、小惑星“Hatoyamamachi”が誕生しました。発見者の天文家、渡辺和郎氏が命名してくださったのです。

地球観測衛星と気象衛星のデータを受信するパラボラアンテナのある鳩山町では、この小惑星“Hatoyamamachi”の誕生を記念し、関係機関の協力のもと、宇宙の魅力と可能性を発信するシンポジウムを開催します。

主催：鳩山町・鳩山町教育委員会、協力：国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)、東京電機大学理工学部、一般財団法人リモート・センシング技術センター

シンポジウムの第1部では、命名くださった天文家の渡辺和郎氏から命名認定証の受贈と講演をいただきます。また、基調講演として、元JAXA宇宙飛行士の山崎直子氏に、実体験に基づく貴重なお話をいただきます。

第2部では、渡辺氏、山崎氏、元JAXA A5だいち(ALOS)サイエンスマネージャーで、現在は東京電機大学理工学部教授の島田政信氏、小峰孝雄鳩山町長の4人のパネリストに加え、元JAXA宇宙環境利用推進部長で、現在は宇宙と人をつなぐスペースコーディネーターの寺門邦次氏をコーディネーター

鳩山町には、地球観測と気象衛星のデータを受信するパラボラアンテナがあります。今回の小惑星“Hatoyamamachi(鳩山町)”の誕生により、小さくても宇宙に近い町が、さらに宇宙に近づきました。

★ 壮大な宇宙の魅力を知り ★ 夢とロマンを感じる町へ

ターに迎えて、宇宙の魅力と可能性についてディスカッションを行います。

会場では、宇宙や地球観測のパネル展示や、JAXAグッズなどを取り扱う「宇宙の店」による商品の展示・販売も行います。

宇宙への興味・関心を持つきっかけに、また「宇宙に近い町 鳩山」を感じ、ぜひお誘いあわせのうえ、お越しください。

- 鳩山町民の方は予約不要です。当日、直接会場へお越しください。(先着順)
- 鳩山町外の方は予約が必要です。鳩山町公式ホームページ(<http://www.town.hatoyama.saitama.jp/>)をご参照または下記まで電話でお申し込みください。
- 問合せ 役場政策財政課 政策推進担当 ☎ 296-1212

誕生記念シンポジウム MENU

第1部 命名式典

- 命名認定証受贈
命名講演 天文家 渡辺和郎氏
- 基調講演
講師 元JAXA宇宙飛行士 山崎直子氏

第2部 パネルディスカッション ～鳩山町から発信する宇宙の魅力と可能性～

- パネリスト 渡辺和郎氏 山崎直子氏 島田政信氏 小峰孝雄 鳩山町長
コーディネーター 寺門邦次氏

平成27年

平成28年

町内5大ニュース×まちづくりの展望

新たな年を迎えた今月号では、平成27年を「町内5大ニュース」で振り返るとともに、平成28年におけるまちづくりの展望をご案内します。

町内5大ニュースで振り返る 平成27年の主な出来事

町では、平成25年に「北部地域活性化基本条例」を制定し、泉井地区と上熊井地区を推進地区として選定させていただきました。そして、各地区の皆さまと協議を重ね、昨年の3月に泉井地区で、11月に上熊井地区で(詳細は4・5ページを参照)、それぞれ「活性化取組方針」が決定しました。

9月には健康寿命の延伸に向け「はとやま毎日1万歩運動」がスタートしました。半年間にわたり、毎日1万歩を目標にウォーキングを行い、その効果を検証します。また、今宿地区の食品系スーパーが



9月に行われた食品系スーパーの開店式典



健康寿命の延伸に向け「はとやま毎日1万歩運動」がスタート(9月)

撤退後、誘致により進出したスーパーマーケットの工事が進み、同月に開店しました。小惑星の名前に鳩山町が命名されたという、うれしいニュースもありました。これを記念し、町では、「宇宙に近い町 鳩山」をより広くPRするため、1月23日に記念シンポジウムを行います。(詳細は3ページ及び広報と同時配布のチラシを参照)

鳩山町内での交通事故死者ゼロの更新日数が、12月中旬に2500日を突破しました。この1月号の編集時点においても、まだ更新中です。今

後も、より一層の交通安全を進めるため、交通ルールを守る

など、多くの皆さまのご協力をお願いします。

元気で活力ある安心・安全なまちへ

今年も、元気で活力のある、そして安心・安全なまちに向けてさまざまな事業を進めていきます。その3本柱は、北部地域活性化事業、(仮称)福祉・健康複合施設整備事業、新学校給食センター整備事業です。

北部地域活性化事業は、平成28年度から一部事業に着手し、地域の皆さまとの協働により事業を推進します。

(仮称)福祉・健康複合施設整備事業では、廃校となつた旧松栄小学校用地に、地域



(仮称)福祉・健康複合施設を整備する旧松栄小学校用地

包括支援センターや民間事業者による特別養護老人ホームなどを整備します。この住み慣れた鳩山に、いつまでも住み続けることができるよう「地域包括ケアシステム」の構築を進めていきます。なお、昨年12月から既存施設の解体工事に着手しました。

新学校給食センター整備事業は、老朽化した学校給食センターを、最新設備を備えた施設に建て替える事業です。平成29年の完成を目指し、今年の夏から工事に着手します。

なお、長年の懸案である(仮称)鳩山新ごみ焼却施設建設問題も、地元地区のパイプ役として、しっかりと町の役割を果たしていきます。

また、平成27年には「鳩山町人口ビジョン」及び「鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。人口減少や地域経済縮小の克服に向け、雇用の創出や若者世代の定住も進めていきます。